大仙市屋内遊び場施設整備事業に関する サウンディング型市場調査（２回目）の結果等について

令和６年１１月２５日
こども未来部こども政策課

1 要旨・目的

大仙市屋内遊び場施設整備事業を行うにあたり、民間活力を導入した事業手法を採用する予定としており、民間事業者の皆様と意見交換を行うことで、実現性のある公募条件等を検討するため、サウンディング型市場調査（２回目）を実施しましたので、その結果を公表します。

2 実施期間

令和６年１０月２日（水）～１０月３１日（木）

3 参加事業者数

３社

4 事業者からの主な意見

① 運営方針について

職員配置

- ・館長１名、社員３名、パート５名は最低必要。休日や長期休暇を考えると、パート人数がやや不足。
- ・地元人材採用を優先とする。

イベント関係

- ・おおよそのイベントは開催可能だが、工作やお菓子作り等は材料費がかかる。
- ・周辺施設（嶽ドーム、体育館、テニスコート、芝生広場等）と連携したイベント開催も可能。
- ・イベントは行政提案でも良いし、運営事業者や市民、企業などが提案したイベントを開催することも可能。

施設の運営管理

- ・開館時間は９：００～１７：００が良い。
- ・予約制については、その必要性について各社意見が異なる。

② 収益事業について

収益事業等に関すること

- ・各社とも収益事業の実施意欲がある。
- ・事業形態は各社意見が異なり、軽飲食店舗、自動販売機など。

③ その他

当施設建設に併せて、施設外の公園設備（日陰、ブランコ、砂場等）を移転・設置等は可能か

- ・要求水準書に記載すれば、同一事業として実施可能。